

第1回 全国招待大学対校男女混合駅伝

開催日: 2021年3月21日(日)

場所: 長居公園内特設コース

種目	距離	名前	学年	通過着順	区間着順	記録	備考
総合	20km	関西外国語大学		総合11位 (17チーム中)		1時間04分55秒	優勝 順天堂大 1時間01分53秒 2位 京都産業大 1時間02分29秒 3位 日本体育大 1時間02分44秒
1区	3km(男子)	瀬戸 路弾	3年	15	15	9分07秒	
2区	2km(女子)	西出 優月	3年	8	2	6分14秒	
3区	5km(男子)	有富 智哉	3年	14	17	16分12秒	
4区	3km(女子)	山岸 みなみ	1年	12	8	10分10秒	
5区	2km(男子)	寺井 滉人	3年	14	16	6分12秒	
6区	5km(女子)	矢尾 桃子	2年	11	2	17分00秒	

【山本コメント】

大学対校の初の男女混合駅伝の試みとして、関西学連、関西テレビ、産経新聞が主催する第1回大会に、関西学連所属大学を中心とする全国から17の大学が参加して競い合った。新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言の影響で、開催日が約1ヶ月延期され、参加を取りやめたチームもあり、また当日はあいにくの強雨の天候になってしまったが、多くの方々の協力によって無事に開催でき、本学も陸上競技部男子選手と女子駅伝部の選手がチームを組んで出場することができた。

レースは、男子選手が牽引するチーム、女子選手が牽引するチーム、男女の走力がバランス良いチームなど、男女混合駅伝ならではのチームの個性が発揮され、見応えがあった。本学は女子選手が牽引したチームといえるが、男子選手も今の自分の力を発揮しようと奮闘した。何よりも、本学の男子中長距離選手は人数が少ないために駅伝大会に出場するチャンスがなかったのが、大学初の駅伝の機会に対して緊張感と高揚感をもって出場しているように見えた。女子駅伝部の部員も、仙台や富士山の駅伝とは違い、プレッシャーが少なく、区間距離も短めである駅伝を楽しんでいるように見えた。男女混合ということで、お互いにフォローしあって気遣いあってタスキをつなぐ様子が他校にも見られ、全体的な雰囲気として和やかさを感じた。

コロナ禍の中で新しい大会が企画され、そこに本学が参加させていただいたことに感謝したい。ただし本大会をさらに盛り上げ、そして継続していくためには、区間距離、コース、開催時期など、改善の余地がたくさんあるように思う。走る学生、応援等に回る学生、運営する関西学連の学生、スポンサー、観戦する方々が、大会に参加して、観て、支えて楽しかったと思える大会になっていくよう、様々な立場の人たちが今回の第1回大会の内容にこだわらないアイデアを出し合って工夫し、協力していく必要であろう。